

4月21日(月)、今年度第1回目の全校朝礼が行われました。毎回第1体育館にて実施されますが、収容人数の関係で一つの学年(中学校は全学年)のみが集い、他学年は zoom を通じて各教室での朝礼となります。

この日は、私から新学期が始まって2週間の生徒の様子と「校長講話」(下記に記載)についての振り返りを話しました。そして、生徒支援部長からは、登下校のマナーについて、画像を示しての説明がなされました。

また、アメリカからの留学生、ロセンド君の紹介がありました。「アメリカから来ました。日本のことを知りたいです。今日からよろしくお願いします」と日本語での挨拶がありました。高校2年1学級に入り、1年間共に学ぶことになります。

(右は、ロセンド君とのツーショット。スタディーホールにて。)



日 日 是 好 日 を 願 う

4月9日(火)～14日(月)は、新学期のオリエンテーション期間となりました。とくに新入生にとっては新しい環境に早く慣れるための準備期間として設定されましたが、在校生にとっても同様で、学年が1つ上がり、学校生活のあり方を確認する機会となりました。

その一つとして「校長講話」が行われました。今年度の講話は、中学(全学年)から高校までの6学年が同じテーマでした。

1. 「聞いたことは、忘れる？」
2. 「協創グランドデザインについて」
3. 「8つのマインドセットについて」
4. 「だから、協創からはじめよう。」

の4つ。勿論、学年に応じて違った話題や余談を交えました。以下がその主な内容です。

最初に、「聞いたことは、忘れる。見たことは、覚える。やったことは、わかる」って知っていましたか？ どういうことかと言うと、授業や(校長)先生の話をしてただ聞いていただけでは、ほとんど忘れる。だけど、メモを取ると覚えていることが多い。しかし、聞いたことを誰かに教えると記憶として綴られることが多いということです。

ちなみに、聞いたこと10% 聞いて見た(書いた)こと20% 話し合ったとき40% 体験したとき80% 教えたとき90% の割合で記憶に残るのだそうです(諸説あり)。だから、授業が終わって、友だちと教え合いをすると絶对的に効果あり、ということになりますね。

2つ目です。今年度、建学の精神や教育目標に基づいた様々な方針や考え方、学びの方向性や行事等を通じて得られる非認知能力こと、そして、先生方が生徒にどのように伴走するかなどいうことを図に示した「協創グランドデザイン」を策定しました(スクリーンに図を示す)。いわゆる、

生徒の一人ひとりの成長を支えるための全体的な設計図を示しました。今後、折を見て説明する機会を設けていきますので、徐々に理解を深めてもらいたいと思います。

さて、3つ目です。これまで私が何度か話してきたことの復習みたいなものです(新入生には初めての内容ですが)。「8つのマインドセット」についてです。8つ、言えますか？

- 1 いい準備をしよう
- 2 読書をしよう
- 3 協創する人をめざそう
- 4 利他の心を持とう
- 5 礼儀(とくに挨拶)を大切にしよう
- 6 時間と友だちを大切にしよう
- 7 できない理由より、できる方法を考えよう
- 8 一流の人をめざそう

これは学校生活における心構えであり、実践に向かって欲しいと思うことの8つです。いくつかは、習慣とすることが望ましいと思っています。

すべてのことを説明する時間がないので、例えば、「いい準備をしよう」。サッカー日本代表元監督・岡田氏は、「準備がすべて」と公言し、準備することの重要性をと説いています。「一流の人をめざそう」。一流の人とは、ものの見方や考え方が柔軟で強靱であること。そして、謙虚な姿勢を持っている人のことを指します。そんなふうであればいいですね。残りはいつかまたお話しします。

最後に、今年の学校のキャッチフレーズです。昨年に引き続き、「だから、協創からはじめよう。」にしました。お互いに一年間協創しましょう。

生徒はメモを取り、感想、今年度の目標を書いたものを提出してもらいました。すべてにコメントを記入し、先日、返却しました。

「日日是好日」、一日を大切に過ごしましょう。